

平成30年度第1回 感染症発生動向調査部会
議事要旨

1 日 時 平成30年4月18日(水) 14:30～

2 場 所 岐阜大学医学部本館 1階 入札室(岐阜市柳戸1-1)

3 出席者

委 員 : 馬場 尚志(岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター 副センター長)
大西 秀典(岐阜大学医学部附属病院 新生児集中治療部 准教授)
澤田 明(岐阜大学医学部附属病院 眼科 講師)
加藤 達雄(国立病院機構長良医療センター 呼吸器内科統括診療部長)
石山 俊次(石山泌尿器科皮膚科)

オブザーバー: 中村 こず枝(岐阜市保健所 副所長)
川部 京子(岐阜市保健所地域保健課 感染症対策係長)

事務局 : 井戸 美子(保健医療課 感染症対策監)
居波 由紀子(保健医療課 感染症対策係長)
上津 ひろな(保健医療課 主任技師)
田村 直彦(保健環境研究所 疫学情報部長)
酢谷 奈津(保健環境研究所 専門研究員)

4 議 題 (進行:馬場委員)

- (1) 2018年第9週～第13週、3月の感染症発生動向について
- (2) その他情報提供

5 議事要旨

【2018年第9週～第13週、3月の感染症発生動向について】

- ・事務局からの報告と委員のコメントについては資料のとおり。
(委員からのその他のコメント等)
- ・侵襲性肺炎球菌感染症については、成人・小児の別、ワクチン接種歴データも併せて提供してもらえるとよりの確なコメントができると思う。
- ・百日咳については、診断方法によっては判断が難しい症例もあると思われる。国では全国データをLAMP法による診断と血清学的診断とに分けて集計しているようである。
→(事務局) これまでに岐阜県で届出された症例のほとんどは単一血清の抗体価測定による診断で、全国では届出全体の約4割がLAMP法による診断。一定量のデータが集積された時点で、診断方法を含めたデータの解釈についてご意見いただきたい。

【その他情報提供】

- 保健医療課から感染症関連通知下記 4 項目について情報提供
 - 愛知県知多半島の犬におけるエキノコックス（多包条虫）感染事例について
 - 感染症の予防及び感染症の患者の医療に対する法律施行規則の一部を改正する省令の施行に伴う各種改正について
 - 麻しん発生報告数の増加に伴う注意喚起について（協力依頼）
 - 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の相談体制について

- 保健環境研究所から感染症発生動向調査の病原体検出情報（2017 年）について情報提供